

防災・避難の方法

1 まず、近くの安全な場所「いつとき避難場所」などへ

大地震が起きたら、まず近くの学校や公園、空き地など広くて安全な場所に避難してください。そのために、家族で近所の安全な場所を見つけておきましょう。

「いつとき避難場所」

震災等が発生したときに身の安全を確保するために避難する近くの公園や空き地のことで、震災時避難場所(地域防災拠点)や広域避難場所へ避難する前に一応避難して様子を見たり、避難するために集結する場所です。

自治会・町内会等で必要に応じて定めています。

★緑自治会では特に定めていないので 地域防災拠点(緑小) になると思います。

2 地域防災拠点(震災時避難場所)

小・中学校 41 箇所を震災時避難場所:地域防災拠点と定めています。

みなさんがお住まいの家が倒壊したり、また、倒壊する危険がある場合には、それぞれ、指定された地域防災拠点に避難します。

地域防災拠点は、情報の受伝達、防災資機材・食糧の備蓄などの機能を備え、地域の運営委員により運営しています。

日ごろから、地域防災拠点までの安全な経路を確認し、がけやブロック塀など危険な場所を避けて避難できるようにしておきましょう。

また、地域防災拠点で行われる防災訓練などに参加しましょう。